

第3回丘珠空港機能強化検討会 議事概要

日 時：令和5年5月10日（水）16：00～17：25

場 所：TKP札幌カンファレンスセンター ホール6A

出席者：委員19名、札幌市（事務局）4名、オブザーバー1名

1 開会

(1) 挨拶（札幌市まちづくり政策局 村瀬都市計画担当局長）

- ・これまで2回の会議を開催させていただき、今後、更なる路線拡充や増便、利用者増加等が見込まれていることから、発着枠やダイヤの調整、施設の拡張等が必要ということや、ターミナル機能強化にあたっては、限られた敷地の中でどのように拡張していくのか、必要規模を踏まえて再配置の検討が必要ではないかなど、ご意見をいただいた。
- ・これらにもしっかり対応しつつ、将来像の実現に向けて、関係の皆様と意見交換や情報共有を行いながら、課題整理や対応策の検討を進めてまいりたい。

2 議事

(1) 検討事項

① 空港ターミナルビル機能強化

- ・ターミナルビル機能強化については、主な論点としてターミナル床面積の確保、ターミナルビル内の商業・サービス機能をどうするか、ターミナルビル周辺の機能をどうするか、などが論点になるかと考えており、地域住民の意向も重要と認識。
- ・ターミナルビルにおいては、国土交通省所管区域内でどのように拡張していくか、必要規模を踏まえて再配置の検討が必要という意見があったところ。
- ・必要規模や配置、施設計画などの検討については、直近においても増便が見込まれており、ターミナルビルや駐機場、駐車場の拡張、GSE車両置き場等について、関係事業者の要望も踏まえながら検討していく考え。
- ・緑地に対する影響を小さくするため、まずは、現在の敷地の中でどれくらい対応できるか検討し、足りないようであれば、空港緑地の活用も考えていきたい。
- ・今後、防衛省で全国の自衛隊施設を対象に、どのような施設更新等を行う必要があるか3年間かけて調査を行う予定。
- ・将来像の実現に向けては、周辺地域の意見やニーズを把握し、取組に反映させていきたいと考えており、6月以降、地域住民との協議の場を設置する予定。
- ・また、アンケートやワークショップの実施も調整しているところであり、ターミナルビルの機能強化についても意見や要望を伺い、空港周辺の施設の更新・整備等の動向も見据えながら、国や関係事業者等と協議・調整を進めていきたい。

② 2次交通に対する検討

- ・札幌市としては、空港の機能強化による航空便の発着時間に対応したバス運行を確保していきたいと考えており、都心アクセス道路が整備された際には、都心部との空港連絡バスを通年運行化するなど、バスアクセスの充実を図っていきたい。
- ・昨年度実施した2次交通のアンケート調査では、自家用車とレンタカーを合わせた利用が3割程度、バスの利用は2割弱であったため、自家用車に対応した駐車場運用のあり方やバスアクセスの充実について検討が必要と考える。

- ・また、空港周辺に住んでいても、空港までのアクセスが不便という声も多くいただいていることから、デマンド型のタクシーやシャトルバスの実証実験等について検討していく考え。
- ・丘珠空港は都市型空港なので、基本的には公共交通を利用してもらえるように考えなくてはならない。駐車料金とのバランスが取れれば、少しずつ利用体系も変わってくると思う。
- ・2次交通における地下鉄延伸の議論については、現実的に難しいと思うが、費用対効果や事業費など、具体的な数字で示して説明したほうが良いと思う。
- ・バスアクセスについては、地下鉄栄町駅とバスの乗換のしやすさについて検討が必要。
- ・地下鉄栄町駅から丘珠空港へのアクセスに関する認知度向上につながる取組も必要。

③ 新千歳空港との役割分担と空港運営体制

- ・将来像における路線展開のコンセプトとしては、北海道と直行便が無い道外各地の地方都市との路線就航を考えており、北海道エアポートが運営する道内7空港とも連携を図りながら、北海道全体の航空需要の底上げに貢献したいと考える。
- ・新千歳空港との連携として、リージョナルジェットクラスの機材で運航している路線やビジネスジェットを丘珠空港でも受入可能とすることにより、混雑する新千歳空港の発着枠の有効活用にも貢献できると考える。
- ・国際線の旅客が戻ってきており、インバウンドをどのように道内周遊させるか、丘珠も含めて道内路線の拡充を図っていきたいと考えており、道とも連携して検討していきたい。
- ・道内路線を強化していくためにどう連携していくかが重要な視点になると思われるので、航空会社のニーズも踏まえて、今後検討していく必要がある。
- ・新千歳空港では、ビジネスジェット専用施設を整備しているところで、需要を取り込んでいきたいと考えるが、それぞれの空港の利点を活かした分担も考えられる。
- ・新千歳空港との役割分担は、補完と分担という2つのキーワードで考えている。補完は冬季に丘珠空港に着陸できない場合でも、新千歳空港に着陸する便があるなど、既に補完の関係にある。また、分担に関しても、中部国際空港と小牧空港のように、就航路線が分かれるほか、機材に関しても、大きい機材と小さい機材で使い分けられるなど、自然と分担関係が出来上がってきていると認識。
- ・空港運営体制について、今後の増便や旅客数の増加を見据え、ターミナルエリアを整備していく必要があると考えており、丘珠は共用空港で制限があるところではあるが、今後も見据え、運営手法などを検討・整理して、市議会及び市民に説明していく必要があると考える。
- ・運営体制の強化は必要であり、このような場での意見も踏まえて、協力・連携の在り方も整理していく考え。
- ・ターミナルの規模拡大に伴い運営主体の責任や負担も大きくなることを見据えた検討が必要。
- ・空港運営については、運営者がどう収益を上げていくかについても検討が必要だと思う。
- ・ターミナルビル機能強化と運営体制はセットで議論が必要。
- ・駐車場については立駐化も一つの案として想定されるが、いずれにしても運営権を設定した方が望ましいのではないかと考える。

(2) その他

<次回会議の開催について>

- ・第4回会議の開催について、5月下旬に札幌市内で開催する方向で別途調整。

以上